

北海道農業 ICT/IoT 懇談会（第1回）

議事要旨

1 日時：令和4年11月4日（金）13:00～15:00

2 場所・形式：ハイブリッド開催（北海道総合通信局第一会議室・Webex）

3 出席者（五十音順）

阿部 隆 構成員（会場）、有岡 敏也 構成員（Webex）、石黒 敦 構成員（会場）、
磯 寿生 構成員（会場）、稲村 栄 構成員（会場）、江部 成彦 構成員（Webex）、
大井 裕樹 構成員（会場）、大橋 俊忠 構成員（会場）、岡本 博史 副座長（会場）、
奥野 林太郎 構成員（会場）、黄瀬 信之 構成員（会場）、北 猛俊 構成員（Webex）、
後藤 正洋 構成員（会場）、笹森 崇行 副座長（Webex）、
佐藤 英一 構成員（代理 須田氏）（Webex）、鳶村 公宏 構成員（Webex）、
鈴木 良典 構成員（代理 高野氏）（Webex）、竹中 秀行 構成員（会場）、
竹中 貢 構成員（Webex）、田中 司 構成員（代理 阪本氏）（Webex）、
所 健一郎 構成員（会場）、中西 泰文 構成員（会場）、
西山 猛 構成員（代理 今野氏）（Webex）、野口 伸 座長（会場）、
日景 隆 構成員（Webex）、日高 茂實 構成員（会場）、
福永 究 構成員（代理 山田氏）（Webex）、藤本 昌彦 構成員（会場）、
保科 友紀 構成員（代理 村木氏）（Webex）、
細井 俊宏 構成員（代理 三野氏）（会場）、前田 右博 構成員（Webex）、
牧内 敬英 構成員（Webex）、道下 一記 構成員（会場）、本 昌子 構成員（会場）、
山田 英也 構成員（会場）、山野寺 元一 構成員（会場）、横山 茂 構成員（Webex）

4 議事

（1）開会

（2）議題

① 開催要綱の確認・ワーキンググループの設置等

② 本懇談会及び各ワーキンググループの検討の方向性（事務局説明）

③ 北海道内外のスマート農業を巡る現状に関するプレゼンテーション

（a）「課題解決型ローカル5G実証を踏まえた農業分野におけるローカル5G活用の可能性」

伊藤 陽介 株式会社三菱総合研究所デジタル・イノベーション本部

ICTインフラ戦略グループ グループリーダー

(b) 「岩見沢市におけるスマート農業等の取組み」

黄瀬 信之 岩見沢市情報政策部長

(c) 「更別村スーパービレッジ構想について」

今野 雅裕 更別村スーパービレッジ推進室長

(d) 道内外のスマート農業に係る取組紹介

阿部 隆 東日本電信電話株式会社 執行役員北海道事業部長

尾作 勝弥 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 北海道支社
ソリューション営業部門 部門長

④ 意見交換

(3) 閉会

5 議事要旨

(1) 開会

開催にあたり、磯総務省北海道総合通信局長から挨拶が行われた。

(2) 議題

① 開催要綱の確認・ワーキンググループの設置等

事務局から資料 1 に沿って懇談会の設置について説明が行われ、構成員の承認を得た。また、懇談会開催要綱に基づき、座長に北海道大学大学院農学研究院の野口教授、副座長に北海道大学大学院農学研究院の岡本准教授、北海学園大学工学部電子情報工学科の笹森教授が指名された。

② 本懇談会及び各ワーキンググループの検討の方向性（事務局説明）

事務局から資料 2 に基づき説明が行われた。また、ワーキンググループについて、WG 1 座長の岡本准教授、WG 2 座長の笹森教授から追加で説明が行われ、本懇談会及び各 WG の今後の検討の方向性について構成員の承認を得た。

③ 北海道内外のスマート農業を巡る現状に関するプレゼンテーション

(a) 「課題解決型ローカル 5 G 実証を踏まえた農業分野におけるローカル 5 G 活用の可能性」

資料 3 に基づき、伊藤氏から説明が行われた。

(b) 「岩見沢市におけるスマート農業等の取組み」

資料 4 に基づき、黄瀬構成員から説明が行われた。

(c) 「更別村スーパービレッジ構想について」

資料 5 に基づき、今野氏から説明が行われた。

(d) 道内外のスマート農業に係る取組紹介

資料 6 に基づき阿部構成員、資料 7 に基づき尾作氏から説明が行われた。

④ 意見交換

【藤本構成員】

平成 30 年度の農業懇談会以降、光ファイバーの整備が進み、以前よりできることが増えたかと思う。本懇談会には自治体も参加されているため、光ファイバーの整備により何が変わったか等聞かせていただき、WG の検討に寄与していきたい。

【後藤構成員】

今年 3 月で当別町全域への光ファイバー整備が完了した。今までは地域間競争という流れがあったが、今後デジタルを有効活用していくためには、通信サービスを皆で共有する必要がある。デジタルで支える地域社会を築き上げ、それを全道的に横展開することが大事かと思う。そういった意味でこの懇談会には期待しており、積極的に参加させていただきたい。

(3) 閉会

以上